

保 育 の な か ま

第55号

本庁職員組合 保育運動委員会 2015年10月16日

10月6日(火)午後6時より、アオッサ6階研修室にて、平成27年度第2回保育運動委員会を開催しました。今回は各報告事項の他に、10月14日(水)の子育て支援室との事務折衝内容について話し合わせ、自分たちの職場を自分たちでより良くしていこうという思いが高まりました。

今年は、保育運動委員会主催で年代別による職場懇談会を行い、意見を出し合いました。例年行われていた子育て支援室との意見交換会ではなく、年度初めのアンケート・職場懇談会の内容をまとめ、事務折衝を行いました。

事務折衝内容について



正規保育士へのアンケート調査結果、保育園オグ、学習会、年代別職場懇談会で回収された感想や意見などから、折衝内容について協議を行いました。

保育運動委員会の中では、次の項目内容において**要求したい!**という思いが強く、多くの委員が1~5のレベルでいうと**レベル5**と考える結果になりました。

◎人員配置…主任保育士フリー化

- 保育現場の緊急時対応等の柔軟な体制を検討し、全園に担任を持たないフリー保育士を配置して欲しい。

◎人員配置…保健師、看護師の保育現場への配置

- 気がかりな子や支援の必要な保護者の増加に加え、感染症への対応、病児病後児への対応などの保育士への負担が増えている。現場で直接保健対応ができる専門職の配置をお願いしたい。

◎賃金、労働条件…時間外勤務、休暇取得の対応について

- サービス残業、持ち帰り残業を一掃するための調査、指導を行い、時間外勤務した実労働分の時間外手当の申請を必ず実施できるようにして欲しい。
- 時間外勤務に対する考え方を統一したものとなるよう園全体に働きかけて欲しい。

◎賃金、労働条件…保健対応について

- 保健師による統一的文書を年度当初の4月に保護者あてに発行して欲しい。
- 嘔吐物付着衣類の始末や発生後24時間家庭での保育依頼等、全園に対し嘔吐処理法の統一をして欲しい。

◎その他…認定こども園について

- 来年度から公立認定こども園の導入にあたり、園長会議を通じて説明をしてもらっているが、制度内容や保育士がすべき業務などは全保育士に伝わるように、室主宰で研修会を開催したり、未定の部分は決まり次第書面で全保育士に伝わるようにして欲しい。

(以上、保育運動委員会資料から抜粋)

全国保育集会参加報告

=山口県で行われた全国保育集会に、森田東保育園の大川桂子先生が参加されました=

「保育の質の改善に向けて」というテーマで、保育・教育現場における具体的課題としては、全国的にも保育士不足が問題となっている。有資格者としての人数は足りているものの、成り手がいないのが現状である。原因としては、低賃金上の問題だけでなく、責任の重さや重労働であること、人員不足の為に正規の負担が大きく、ますます成り手がいなくなるという悪循環である。その中でも鳥取県では、いち早く3歳児指数15対1に取り掛かっており、保育士の負担軽減を図っている。

分科会のグループ討議では、いろいろな県の人と保育体制や日頃の悩みについて、話をすることができた。診断名がなくても、その子の状態に合わせて加配がつくなどの対応がされている県も多く、福井県は、まだまだ遅れを取っている部分も多いのだということを実感した。より良い職場環境で、子ども達の為に努めていけたらと思った。

以上、県外の仲間の状況を聞くことで自分たちのおかれている環境について改めて考えることが出来ました。次年度は新潟県で開催されます。是非参加して情報を得る機会にしましょう!!



学習会と職場懇談会の係りにわかれて、感想と来年度に向けての反省と話し合いました

<学習会>

(感想)

- 学習会のテーマは良かった。受け身していると、取り上げられないことを保育士から取り上げることは凄いと思った。
- 会について煮詰めている先生方が大変だと感じた。
- 講師の先生は、もっと早くアポを取ると良かったのでは?
- 地域の祭りや行事などと重なる園もあり、日程を決めるのは難しかった。
- 組合の人の協力が大きく、とてもありがたかった。

(来年度に向けて)

- 自分たちの知りたいことを取り上げていく姿勢は大切だと感じた。

<職場懇談会>

(感想)

- 30代と20代とで、違う年代の思いや意見が聞けてよかった。
- 同じ年代だったので、話しやすく、話も盛り上がったため、時間が足りなかった。
- テーマが決まっていたので、流れに沿ってなので、意見が出しやすく、貴重な意見が聞けた。
- 日頃の業務が大変なので、こういう機会に参加できるよう、人員を増やした方がいいと思った。
- 組合の方と直接話す機会がないので、直接話せて良かった。しかし、質問でほとんど終わってしまった。
- 50代は人数が少なかったため、50代40代と一緒にした方がいいのでは。

(来年度に向けて)

- 夏休と重ならない時期にした方がいい。
- 4日間は多いので、2日間にして、別の場所を使って、2つ同じにした方がいい。



今年は各係りに分かれて計画、相談して運営し、「保育のなかま」として広報しています。大きな活動は10月14日(水)の事務折衝でした。また、11月14日(土)開催の県本部第25回保育集会では「子どもたちの生活リズムと心身の発達」をテーマに講演会が開催されます。保育に活かせることうけあい!是非参加して学び共有しましょう。